

環境調査結果のお知らせ

令和元年11月28日9時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は17.8~20.1℃で、前回調査時(R1.10.18)と比較して全層で4.5~6.0℃下降しました。塩分は29.9~31.9で、前回調査時と比較して全層で0.3~10.5上昇しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.3~7.1mg/lで、前回調査時と比較して表層で0.1mg/l減少し、1m層から底層で0.7~1.7mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.9mでした。

検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で3,700cells/ml確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R1.10.18)	
			差(今回-前回)
0m	18.0	22.5	▲ 4.5
1m	17.8	23.8	▲ 6.0
2m	19.7	25.1	▲ 5.4
B-1	20.1	25.2	▲ 5.1

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R1.10.18)	
			差(今回-前回)
0m	29.9	19.4	10.5
1m	30.1	24.3	5.8
2m	31.3	30.4	0.9
B-1	31.9	31.6	0.3

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R1.10.18)	
			差(今回-前回)
0m	7.1	7.2	▲ 0.1
1m	6.9	5.2	1.7
2m	5.4	4.3	1.1
B-1	5.3	4.6	0.7

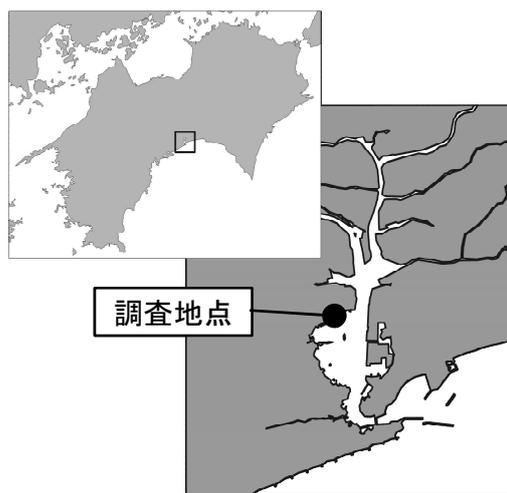


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.8	3.8
透明度	2.9	1.9

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類	漁業被害が想定される細胞密度 ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)
0	3,500	0	0	0	
1	3,700	0	0	2	
2	2,200	0	0	10	

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>